

宗像市市民参画等推進審議会

第１回第２次宗像市市民活動推進プラン策定専門部会

(会議内容要点筆記)

日 時	平成３０年１１月２２日（木）９：００～
場 所	宗像市役所 ２０１会議室
委 員	■佐藤靖成 ■種田明美 ■福岡佐知子 ■東博子 ■山田明（五十音順、敬称略）
事務局	コミュニティ協働推進課（ 中野、中脇、神、大久保 ）

１．はじめに

コミュニティ協働推進課課長中野からあいさつ

本日は、第２次市民活動推進プラン策定にあたり専門部会としてお集まりいただいた。本プランは平成２５年３月に策定されたが、現在の社会情勢等を考えると変更すべき箇所も出てきた。より良い計画にできるよう、積極的なご審議をお願いしたい。

２．平成３０年度（平成３１年度開始コース）市民サービス協働化提案制度に係る答申

東会長から、市民協働環境部長三好へ答申

市民協働環境部長三好からあいさつ

宗像市でコミュニティ施策に取り組み始めてから２０年が経ち、宗像市はコミュニティ・市民活動の先進地として全国各地から視察が来るようになった。これも審議会の皆さまに、一緒にまちづくりに関わっていただいているおかげである。まだ課題も多いので、第２次市民活動推進プラン策定に向けてご審議をお願いしたい。

３．第１次市民活動推進プランについて

事務局から、配布資料に基づき、「第１次宗像市市民活動推進プラン」、「第２次宗像市総合計画」、「宗像市生涯学習推進プラン」について説明

第１次市民活動推進プランが、第２次宗像市総合計画と同じような内容になっていたため、第２次市民活動推進プランは、第２次宗像市総合計画の行動の指針となるようなプランにしたい。

4. 第2次プラン策定に向けた参考事項について

山田副会長から、配布資料に基づき、「生涯学習、社会教育、ボランティア、大学と地域の連携等」の全国的な流れ、現状、課題等について説明。

5. 第2次プランの主要ポイントについて

事務局から、配布資料に基づき、宗像市の市民活動、生涯学習、ボランティア等に関する所管事務等について説明。また、プラン構成の参考として、佐伯市の第2次佐伯市食育推進計画を紹介。

その後、第2次プランの主要ポイントについて意見交換

《意見等》

第1次プランについて

- ・団体アンケートを実施して、団体の意見も取り入れた。
- ・山田副会長の説明の中で「情報の受発信」の重要性が出てきたが、この件については、第1次プランでも触れられていた。「人材育成」についても同様である。
- ・「情報の受発信」や「人材育成」に関する宗像市の傾向や社会教育等の現状について知りたい。
- ・第2次プランには、公民館活動の活性化についても言及してはどうか。

ボランティア活動について

- ・まちづくりについて関心をもつ人が増えている。
- ・自分のやりたいことをしながら人の役に立ちたいという人が増えている。

コミュニティ・センター・公民館について

- ・身近な公民館を活用していくべきである。
- ・宗像市の一部の地域では、子ども会活動を自治会と連携して行うことで、公民館を活用できている。
- ・公民館は、新しく移住して来た人には近づくにくい。
- ・公民館に自治会活動のパンフレットを配置するなど、公民館を利用した人が地域活動を知ることができる工夫をしてはどうか。

ボランティアネットワークについて

- ・社会福祉協議会が運営を行っているためか、福祉分野が多い。
- ・教育委員会で教育分野のボランティアに関するコーディネートを別途実施しており、

ボランティアネットワークとは連携できていないのではないかな。

- ・公園を管理している企業が実施するイベントへのボランティアの依頼があり、派遣している実績はある。

市民活動について

- ・活動している団体の構成メンバーが高齢化してきている。
- ・既存の団体が設備等を先に使っていることから、若者主体の新しい団体が使えていない状況があるようだ。新しい団体も気軽に利用できるようなるともっと活動が活発になるのではないかな。

情報の受発信について

- ・メディアが多様化してきており、特定のメディアだけでは市民全体に伝わらない。
- ・ターゲットを明確化し、ターゲット別にメディアや情報内容の使い分けが必要。
ターゲットの明確化により、数値目標も立てやすくなる。佐伯市の計画は、市民をひとくくりにせず、それぞれの年代に対する目標も設定されているので参考にすべき。

大学連携について

- ・市が事務局となっている「むなかた大学のまち協議会」は、事業のマンネリ化が課題である。現在、本審議会委員の福岡氏にコーディネーターとして入っていただき、新規事業等について協議中である。
- ・協議会には、宗像市内の2高校も入っている。現在、国が大学入試改革を行っており、内申書に影響する学生のボランティア活動はニーズがあると思われる。また、今後、学園コーディネーターの役割は重要になってくることが想定される。
- ・ボランティア活動の要請については、学校の先生に直接依頼することも有効な手段である。

6. その他

事務局から総括

本日ご意見をいただいた公民館の活用等については、コミュニティ協働推進課コミュニティ係にも関連する。次回は、コミュニティ係の職員も同席のうえ、協議したい。

＝ 散 会 ＝